

市町村子連と連動した安定運営のために

一般社団法人神奈川県子ども会連合会
会 長 山 上 武 久

I はじめに

本連合会は、神奈川県子ども会連絡協議会として昭和35年に設立され、(社)全国子ども会連合会・神奈川県の指導により神奈川県域子ども会連絡協議会・神奈川県子ども会連合会を経て、平成22年12月1日新法人法による全国第一号となる「一般社団法人神奈川県子ども会連合会」を設立いたしました。

平成24年度は、全子連安全共済会がスタートし、会員数確保が至上の課題でありましたが、目標の7万人の会員数を確保することができました。ご協力感謝申し上げます。

平成24年度より新たにスタートしました市町村子連と神子連・全子連のリレーがスムーズになるための方策として市町村子連代表者の構成による4部会も動き出しており、25年度も引き続きの活動を期待いたします。

平成25年度は、1年後に、関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー大会の開催が当県で開催されますので、その準備に入りますのでご協力をお願いします。その為に、予算も計上しております。

神奈川県子ども会連合会の理念を制定してから数年を経過いたしましたので、改めてお示しいたします。

尚、(社)全国子ども会連合会が、平成25年4月1日より公益社団法人に移行いたします。

II 運営方針

I 全員参加の神子連組織の確立

1. 市町村子連代表者が各部会に所属することで神子連～全子連への理解をさらに深めていただきたく昨年に引き続き部会活動を活発に展開します。
2. 全市町村にジュニアリーダー組織の設立を目指します。

【指導者養成部会】

1. ジュニアリーダー大会の体制を確立します。

平成26年度に関東甲信越静地区子ども会ジュニアリーダー大会の当県での開催にあたり、指導者養成部会及びジュニア・シニア担当が主となり、県子連シニアリーダーズクラブ及び各市町子連のジュニアリーダーの指導を徹底し、企画～ロードマップの作成をするとともにプレ大会を開催します。

2. 育成者のための養成講座を開催します。

【安全教育部会】

1. 安全教育の充実を図ります。

安全共済会が1年経過した中で安全教育をさらに推進し、事故の減少を目指すことを全県的な取り組みとします。

2. K Y T初級研修会を本年も開催し、全市町村の安全教育担当者をはじめ単位子ども会に最低1人の修了者の役員体制を目指します。

【広報部会】

1. 広報活動に力を入れ、マスコミ・市町村を經由した子ども会PR活動を展開します。

2. 全子連と連動したHPの活用をすることにより、子ども会活動を全県民に提供する方策を確立します。

【総務部会】

1. 組織全体の運営について研究し事務の合理化について協議します。

2. 将来財政について、長期計画・中期計画を策定します。

II 安定運営と財政問題

1. 平成24年度予算総会において決議いただきました将来計画のうち、平成25年度より神子連会費値上げは事務局の努力などにより、24年度中の経費削減に努めていただいたことにより、従来の積立金を25年度に繰り越すことが可能となりました。ただし、県補助金・企業からの寄付金等の廃止・削減が現実のものとなり、26年度以降の運営は当初予定していた予算よりさらに厳しくなる傾向となりました。

単年度予算の組み立てでは昨年を引き続き収支マイナス(赤字)計算となりますが、積立金の取り崩しで補てんすることで予算計上いたしました。このことにより、従来の積立金が枯渇することとなり、平成26年度以降は、本来の会費を財源とする予算を組むこととなります。

総務部会の予定では、25年秋ごろまでには、26年度以降の中期計画を作成する方向で取り組み、財政(会費)について、会員市町村子連にお示しすることとなります。

2. 各市町村子連と一般社団法人神奈川県子ども会連合会の安定運営を図り、子ども会セーフティガードであります安全共済会の安定運営のためにも会員増加が望まれます。会員皆様のご協力をいただきながら25年度の運営展開をいたしたく考えております。

以上